

SALAD BOWL

~Fresh material sent direct from the real medical scene~

Vol.14

みなさん、こんにちは!東葛病院 代々木病院の医学生室です。

今回は代々木病院の小谷先生にお話をうかがいました。小谷先生はリハビリテーション科の医師で、今年、専門医試験にも見事合格!これからますます活躍される先生です。医師体験で会ったという方もいらっしゃるのではないのでしょうか?受験生応援企画や医学生の実習での指導は丁寧で優しく、わかりやすいと評判です。

小谷先生の普段のお仕事の様子や、学生時代のエピソードなど、盛りだくさんのインタビューとなりました!

Q1 代々木病院で行うリハビリテーション(以下リハビリ)はどのようなものですか?

小谷Dr.

私が従事している病棟は回復期病棟といって、大学病院などの急性期の病棟で、たとえば脳卒中、骨折などの疾患の治療を終えた患者さんのリハビリを行います。代々木病院の周りには、たくさんの大学病院や、大病院がありますよね。そういった病院で治療を終えた患者さんが代々木病院へ来るのです。

患者さんの高齢化に伴い、多くの合併症を有する方がいらっしゃるので、ひとつの病、疾患だけ診るのでは患者さんを診ていることにはなりません。患者さんひとりひとりの管理を総合的に、しっかりと行っていくことが医師として求められています。

あとは代々木病院の特徴として、慢性腎不全により血液透析を行っている患者さんを数多く受けています。血液透析の治療とリハビリとを同時に行える施設は都内でも多くなく、都内の様々な地域から入院の申し込みがあるんですよ。

Q2 1日のスケジュールを教えてください。また休みの日はどのように過ごされていますか?

小谷Dr.

午前7時30分ころから病棟で加減チェックなどを行います。その後病院全体の朝会、病棟スタッフが集まり行う入院患者さんの各病棟への割り振りなどを行います。その後患者回診を行い、リハビリの進捗状況を確認します。

午後は患者さんやご家族との面談、カンファランス、新たに入院する患者さんの診察、指示出しなどを行います。患者さんに急変があったときには急に対応することが多くなり忙しくなります。

当直は月に3~4回入っています。医学生になって、実習に来てもらうと、もっと医師の働くイメージが湧いてくると思います。実習にぜひ来てください。

休みの日は子どもが小学4年生とまだ幼いので、公園でキャッチボールをしたり、平日が忙しい分、できるだけ一緒に時間を過ごすように心がけています。

Q3 代々木病院に来た経緯を教えてください。

小谷Dr.

元々、東葛病院で初期研修を行いました。それから、主に代々木病院に若手医師を配置するというので、今から19年前に、代々木へ配属になりました。

幸い、指導して下さる多くの先輩医師や他職種、同僚たちにも恵まれ、今もここに勤務しています。





Q4 学生時代をどのように過ごしましたか？

小谷Dr.

「なぜ医師になりたいのか？」ということ十分に考えないままに医学部に入学し、気がついてみれば卒業前には30歳前(!)になっていたんです(笑)。私は留年をしてしまったこともあり、学費を稼ぐ目的で、塾の講師、引っ越し、本の仕分け、マンションの清掃など様々なアルバイトをやりました。自分には向かないアルバイトも多くありました。そんな暮らしのなかで、社会で給料をもらい暮らしていくことは本当に大変なんだということを学びました。これらの経験は医師になってからも、様々な境遇の患者さんと接するうえで、非常に役に立っていると思います。

Q5 医師として働くなかで、どのようなことに気をつけていますか？

小谷Dr.

医師として働く中で気をつけていることは、治療方針を決めるにあたっては、できるだけ多くの人の意見を聞くことです。自分一人のアイデアや、考えられることには限界があるんです。

ただしバランスが大切で、「優柔不断」「他人まかせ」となってしまうこともありますので、自分の方針をしっかりと持ちながら、他職種や他の先生方にもお話を聞こうと努力することが必要だと思っています。

Q6 医師としての大変だったことや、反対にやりがいについて教えてください。

小谷Dr.

私が携わっているリハビリ科では特に、他職種の人たちと共に医療を進めていくことが必要です。チームがまとまって、患者さんのために一丸となって動き、患者さんのリハビリにあたって成果(患者さんの生活における動作の力が向上すること)を上げることができたときには、とても嬉しく、やっつけて良かった、と心から感じます。

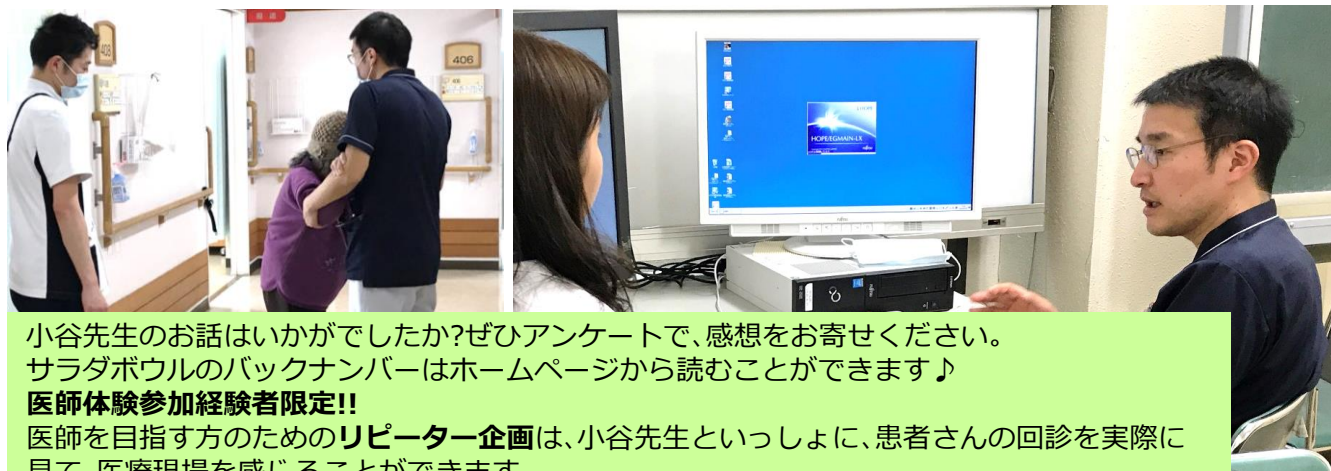
辛いのはこの逆で、チームとしての一体感を感じることができないときです。とにかく、リハビリはチーム医療だ!と思っています。(私もまだまだこれから、修行中です。)

Q7 最後に、医師を目指す高校生みなさんにアドバイスをお願いします!!

小谷Dr.

私は代々木病院の「一日医師体験」という企画で病院を訪れる学生さんと話す機会が多くあります。そこで感じるのは、自分が将来目指す職業について、実際に身体を運び体験することが素晴らしいということです。

みなさん若くて感受性が豊かですから、医療現場の空気感のようなものをぜひ病院に足を運び、もっともっと感じてもらいたいと思います。受験勉強で忙しいとは思いますが、実際の医療の現場には、インターネットや、本では感じられないものが、たくさんありますよ。病院で、みなさんのことをお待ちしております。



小谷先生のお話はいかがでしたか?ぜひアンケートで、感想をお寄せください。
サラダボウルのバックナンバーはホームページから読むことができます♪

医師体験参加経験者限定!!

医師を目指す方のための**リピーター企画**は、小谷先生といっしょに、患者さんの回診を実際に見て、医療現場を感じることができます。

次回は、代々木病院にて夏休み期間に開催予定!!

こちらホームページからお申し込みください。人気企画なのでお早めに!